

	発行者の略号	東書	帝国書院
	書名	新しい地図帳	楽しく学ぶ 小学生の地図帳3・4・5・6年
ア 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫 (7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①概ね良い。 ①随所にクイズを入れ、地形や交通網、産業等を捉えさせたり、名称について理解させたりする工夫がなされている。地図や地球儀で、縮尺をもとに距離を計算する方法を体験的に理解させようとしている。 ②資料により、地形や気候、隣国との関係・産業等の相互の関係について考えやすくなっている。様々な条件が関係し合っていくことを考慮することができる。 ③諸外国やそれらの国々との関係に関する資料の充実により、国際社会における日本の立場等を考えることができる。地図帳の使い方のページの充実により、地図帳を主体的に用いる姿勢の醸成が期待できる。	①概ね良い。 ①「地図帳の使い方」のページの充実により、索引の使い方や縮尺についての理解を深めようとしている。各ページのクイズにより、地形や交通網、産業等についての理解が深まるよう工夫がなされている。 ②資料により、地形や気候、隣国との関係・産業等の相互の関係について考えやすくなっている。様々な条件が関係し合っていくことを考慮することができる。 ③諸外国やそれらの国々との関係に関する資料の充実により、国際社会における日本の立場等を考えることができる。地図帳の使い方のページの充実により、地図帳を主体的に用いる姿勢の醸成が期待できる。
	(4) 市町の方針との関連 ①小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	・地域の特色を捉えたつくりになっている。 ・地図の導入部分で小田原城址公園周辺が取り上げられている。また鳥瞰図では箱根町・真鶴町までが取り上げられている。地図帳の史跡・産業として①みかん・漆器・かまぼこ・石橋山古戦場②箱根寄木細工・箱根関所跡	・地域の特色を捉えたつくりになっている。 ・地図帳の史跡・産業として①みかん・小田原漆器・石橋山の戦い②箱根寄木細工・箱根八里・箱根関所
	(ウ) 内容と構成 ○ 小学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧児童の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①都道府県や世界各国の特色のヒントを示し、主体的に調べたり、発表したりする活動が期待できる。 ②国旗・代表的料理・動物が示されている。（料理や動物はコーナーを設けている。）曲名と由来地や史跡、世界遺産の表記等がされ、資料編にも歴史や理科と関わり深い部分がある。様々な教科領域との関連が意識されている。 ③都道府県や世界各国の特色のヒントを示し、調べたり、まとめたりするヒントを提示している。 ④表紙裏側に世界各地のスポーツや文化遺産等が示されている。日本各地についても同様の扱いがなされている。裏表紙内側に世界の国々の国旗が一覧で示されている。文化のページに全国の主な祭りが掲載されている。北海道地方の地図にアイヌ語と地名のコーナーを設けている。 ⑤世界地図と地球儀で地球儀を用いて距離を測ったり、大きさを比べたりする活動が具体的に示されている。各ページに地図の中から探したり指でなぞったりできる体験的な活動を促す工夫がされている。 ⑥3年生から使用することを意識し、最初の部分はイラストを複数使用し、地図の世界に引き込むように工夫されている。「日本の歴史」の関係地図や年表が充実しており、発展的な学習が可能である。 ⑦「Dマーク」が設定されており、インターネットを利用した学習の推進を図っている。統計資料に出典が明記されており、資料にあたることが可能。 ⑧地図への導入部分でイラストから徐々に地図につなげていき、困難さを和らげる工夫がなされている。小田原城周辺が扱われていることで通常の地図よりも児童はイメージがしやすいと考える。 ⑨イラストがふんだんに取り込まれており、視覚情報からイメージを持ちやすい。各ページにクイズや体験コーナーが設定されている。	①都道府県や世界各国の特色のヒントを示し、主体的に調べたり、発表したりする活動が期待できる。 ②国名の英語表記・国旗・代表的料理・動物が示されている。（世界）曲名と由来地や史跡、世界遺産の表記等がされ、資料編にも歴史や理科と関わり深い部分がある。様々な教科領域との関連が意識されている。 ③都道府県や世界各国の特色のヒントを示し、調べたり、まとめたりするヒントを提示している。 ④各国の衣服・スポーツ・料理・国旗等が地図上に示されている。 ⑤94ページ日本の自然と防災(2)の資料図で防災マップづくりの手順が示されている。 ⑥3年生から使用することを意識し地図の使い方のページを充実させている。また段階的な活用を想定し大まかな情報の日本地図と詳細な情報の日本地図が用意されている。 ⑦コンテンツメニューがあり、インターネットで関連情報等を閲覧することができる。統計資料に出典が明記されており、調べることが容易。 ⑧地図が複数用意され、学年や習熟の度合に応じた使用が可能。縮尺には1cmが何kmを表しているのか説明がある。資料の中の情報量を抑えることで見やすくしている。土地の高低の色を抑え気味にし、地名等を読みやすくしている。 ⑨イラストがふんだんに取り込まれており、視覚情報からイメージを持ちやすい。「地図マスターへの道」によりクイズ形式で地図に親しみやすくする工夫がされている。
(イ) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①概ね良い。 ②掲載写真に番号が振られ、位置等が分かりやすい。詳細地図を示す枠を設定し、該当ページへとつなげている。 ③「地図帳の使い方」のページがあり、見開きページの中に地図帳の使い方がコンパクトにまとめられている。	①概ね良い。 ②掲載写真に番号が振られ、位置等が分かりやすい。隣接する地図にページが振られ検索しやすくなっている。情報量を抑えることで、児童が情報を検索しやすくしている。 ③「地図のやくそく」「地図帳の使い方」のページや、「広く見わたす地図」から「詳細な地図」が設定されていることにより児童は段階的に理解を進めやすいと考える。	
イ 教科・種目別の観点	①社会的事象に関する基礎的な知識や技能などを習得させるための工夫や配慮がなされているか。	①スポーツ、食べ物、料理、動物、文化、農作物、産業、博物館・アミューズメントパークをはじめとした建築物、歴史的建造物、生物等様々なイラストが随所に掲載されており、視覚的に地形や地名・都道府県名等とそれらを結びつけやすくしている。 ①「市を見わたしてみよう」のコーナーの鳥瞰図と地図とをつなぎ合わせることで、地形や地図記号等について理解を深めることができる。実際に見学する施設も含まれており、体験と地図とをつなげて考えることもできる。	①スポーツ、食べ物、料理、動物、文化、農作物、産業、博物館・アミューズメントパークをはじめとした建築物、歴史的建造物、生物等様々なイラストが随所に掲載されており、視覚的に地形や地名・都道府県名等とそれらを結びつけやすくしている。 ①「地図のやくそく」では地図を読み取る上で大切な「方位」「記号」「縮尺」等についてページを分けて解説している。演習も含まれており地図の見方・活用の仕方を理解しやすいだけでなく、指導者側も指導しやすくと考える。また「地図帳の使い方(2)」の「さくいんを使おう」では時間割表を用いて説明をしており、児童の実態から索引をイメージしやすくと考える。 ①ヨーロッパ・アジアの国々やアメリカの各州が色分けされているので、国々や州の位置関係を理解しやすい。
	②社会的事象について児童が多面的・多角的に考えられるような工夫や配慮がなされているか。	②1枚の地図の中に含まれている情報が複数あり、それを上手に利用することで地形や交通網、産業、人口の多少等をつなげて考えていくことができる。地形についての印刷の色が濃く、地形を読み取りやすい。 ②18ページ南西諸島の地図で中国や台湾との関係を捉えさせたり67ページオセアニアで環太平洋を捉えさせたりして、日本と周辺国との関係を考えさせるような配慮がなされている。 ②73ページ日本の貿易は貿易額・輸出入の比率を円グラフの大小と比率で示し、周辺国との関わりを分かりやすく示している。	②「日本をながめてみよう」「日本の領土とそのまわり」では日本と周辺国との関係が分かりやすく示されている。領土・領海・経済水域等、現在の国際関係を考える上で有効である。 ②首都圏、京阪神・愛知県等の詳細地図により、それぞれの産業や機能の違い等を比べながら考えることができる。 ②「地図ってなんだろう」～「地図帳の使い方」の充実により、地図帳を活用する児童が増える可能性は高い。地形や交通網と様々な産業や人口の多少等を関連づけて考えやすくなり、見方・考え方を広げることができる。
	③学習の問題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	③巻末の日本の自然、産業、貿易・歴史・歴史と文化等の資料が充実している。社会科だけではなく他教科の資料としても活用の可能性がある。また、それぞれに出典が記載されており、関連資料を調べる際にも有効である。	③「地図ってなんだろう」～「地図帳の使い方」が充実しているので、地図帳を活用する児童が増えることが期待できる。 ③「日本の自然のようす」「日本の自然災害と防災」「日本の産業のようす」等巻末資料が充実しており、各学年で調べ学習を進めていく際に大きな助けとなる。また、それぞれに出典が記載されており、関連資料を調べる際にも有効である。